IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門（D部門）ニュースレター 2014年10月号 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/nl/>)

「攻めの広報」を深化させる Deepening of Proactive Editorial Committee

電気学会 産業応用部門 編修広報委員会委員長
井出 一正（日立製作所）
Kazumasa Ide (Hitachi)
Chairperson of Editorial Committee, Industry Applications Society, IEEJ

2014年6月より2年間、D部門副部門長を務めることになり、今年度は部門編修広報委員会の委員長を担当いたします。D部門の大山部門長が2年前の部門編修広報委員会委員長就任時に掲げた「攻めの広報」を深化させていきます。「攻め」の要件は、1つには直接会員の皆様の「革新、開拓、挑戦の実行を支援する」ことであり、もう1つはそれを支える「フレームワークを整備、充実させる」ことであると考えています。これら2つの観点から、部門編修広報委員会の方針と活動を紹介します。

革新、開拓、挑戦に向けた情報提供

D部門は、私が大学院修士課程に在籍していた1987年に発足しました。当時は、直流電動機が数多く用いられていましたが、交流電動機と変換器を組合せた可変速電動機システムの応用が拡大されていた時期で、日本が世界的にみても技術を誇示できる事業領域としてD部門に多くの期待が寄せられていたように感じていました。現在はグローバルに競争が激化し、技術のコモディティ化が進んだ領域が多いことも事実です。しかし、D部門のコア技術は正に「産業応用」に欠かせない電気に根ざした技術で、今後もコア技術そのものの深化とともに、応用も拡大していくものと考えています。その応用を拡大させていくためには、様々な課題を先取りして解決する技術を確立していくことが1つの重要な視点です。

D部門の論文委員会は、5つのグループから構成されていますが、そのうち、D1、D2、D3のグループが主要なコア技術を、D4、D5が応用技術をカバーしています。

- ・D1 グループ：半導体電力変換
 - ・D2 グループ：産業計測制御、メカトロニクス制御技術
 - ・D3 グループ：回転機、モータドライブ、リニアドライブ
- これらコア技術を適用して、「革新、開拓、挑戦を実行する」兆しを捉え、D部門会員の皆様に情報を提供していくことを「攻めの広報」の基本的な考え方に据えて活動していきます。コア技術を活かして、D部門の応用領域が更に

拡大されていくことに貢献していきます。

フレームワークの整備、充実

部門活動を広く適正に理解いただく環境を構築していくことは、広い意味でフレームワークの整備そのものと理解しています。その環境といえる電気学会のホームページが、2014年4月1日より一新され、使い勝手が向上しました。リニューアルは本部広報委員会を中心に計画から完成まで1年間で費やされました。D部門は以前より独自サービスを提供してきましたが、それらサービスを継続、改善できるように、部門編修広報委員会は本部広報委員会とリニューアルで密接に連携してきましたので、その一部を紹介します。

- ・従来、随時コンテンツが追加され、重要なページの場所が判りにくく、アクセスしにくかったため、重要度を指標にしてメニューを再設計しました。
- ・J-STAGE、電子図書館などが異なる場所に分散して管理されてきた学会誌、論文誌、研究会資料、全国大会講演論文集、部門大会論文集、その他学会出版物の一括検索を可能にしました。
- ・学会行事がトップページのイベントカレンダーから一覧でき、部門、研究会、支部ごとの絞込みが可能になり、カレンダーの各行事は詳細情報にもリンクされました。

今後は、英文誌とも連携して海外向けの情報発信ができる英文コンテンツを充実させていきたいと考えています。

このような「フレームワークを整備、充実させる」ための新しい電気学会ホームページにアクセスいただいて、D部門会員の皆様が「攻めの広報」を活用いただくことをお願いします。

最後に、D部門のコア技術の最先端化と応用の拡大に対して、ニュースレターとホームページがよりよい、適切な情報源となることをめざしていきますので、部門編修広報委員の活動にもご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。